

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

直近の決算日: 令和 7 年 3 月 31 日

1. 団体の概要				
団体名	(公財) 長崎県産炭地域振興財団	設立目的、経緯及び根拠法		
設立年月日	平成9年2月4日			
所在地等	〒 850-8570	長崎県内における産炭地域振興対策等を講ずることにより、石炭鉱業の閉山及びその企業活動の結果に起因する諸問題の解決並びに産炭地域における地域経済の自立的な発展に寄与することを目的とする。平成13年度末で産炭地域振興臨時措置法等が失効することに対応するため、国の産炭地域振興審議会の答申に基づき、国の指導により設置された。		
	長崎市尾上町3-1			
	TEL 095-895-2637			
	Fax 095-895-2544			
	E-Mail			
県所管課	産業労働 部 新産業推進 課	定款等に定める事業		
資本金・ 基本金等の額 (千円)	主な出資者	出資額(千円)	比率(%)	1. 産炭地域新産業創造等基金事業 …産炭地域で行われる新たな雇用を創出する事業への助成 2. 特定鉱害復旧事業等基金事業 …地表50m以浅にある坑道に起因する鉱害復旧事業
	長崎県	360,964	78.05	
	(株)十八親和銀行	50,000	10.81	
	(株)長崎銀行	10,000	2.16	
	九州電力(株)	10,000	2.16	
	電源開発(株)	10,000	2.16	
	その他	21,540	4.66	
	総 額	462,504	100.00	
ホームページURL				

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)											
役員 (名)	区分	R4	R5	R6	プロパー	派遣県職員	兼務県職員	県OB	他自治体	民間	その他
	常勤			0							
	非常勤	5	5	5			1			4	
	合 計	5	5	5	0	0	1	0	0	4	0
職員 (名)	R4	R5	R6	正規職員 うち県OB	派遣 県職員	兼務 県職員	非正規職員 うち県OB	他自治体	民間	その他	
	5	5	6	1		5					
1人当たり人件費(年度推移)		R4		R5		R6		平均年齢	賞与月数		
常勤役員報酬年額(千円)								歳			
正規職員平均給料月額(千円)		*		*		*		* 歳	* 月		
1人当たり人件費(R6、年代別)		20代以下		30代		40代		50代		60代以上	
正規職員平均給料月額(千円)		*		*		*		*		*	
各年代別正規職員数(名)				1							
県からの常勤又は非常勤役員	県の役職		団体での役職		区分						
	産業労働部長		代表理事		非常勤						
上記役員以外の顧問等											

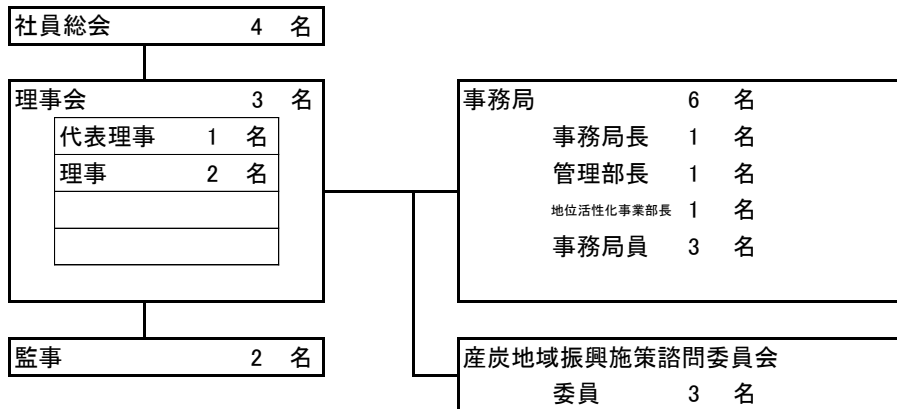
出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

県派遣又は兼務職員	企業振興課長	事務局長	兼務
	総括課長補佐	管理部長	兼務
	課長補佐	地域活性化事業部長	兼務
	係長	管理部主事	兼務
	主事	管理部主事	兼務

【共通】

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)(続き)

組織図



3. 県財政負担の状況(千円)

〈当年度受入額〉		〈当年度末残高〉	
補助金	－	貸付金残高	－
負担金	－	損失補償・債務保証残高	－
委託料	－		
貸付金	－		
損失補償・債務保証額	－		
出資金	－		

4. 県の政策との関連性

1 政策目標

柱2 力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す

戦略2-1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる

2 県との役割分担

県の役割		団体の役割
財団の指導・監督を行う。		基金により産炭地域の活性化に資する事業への助成、及び特定鉱害の復旧事業を実施する。
団体に委ねる理由		説明
	県が直接実施するよりも効果的・効率的に事業実施可能	県が国庫補助(産炭地域活性化事業費補助金)を受けて資金を抛出し、公益法人が基金を造成して事業実施するよう補助要綱により定められている。
	県が直接実施することが困難	
○	その他	

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

3 事業実施状況					
事業名		事業概要	事業費(千円)	主な実績	事業の評価、今後の方向性
1	産炭地域新産業創造等基金事業	食品製造業者の現地生産復活及び生産性向上と販路拡大(ハード事業タイプ)	11,210 (支払はR7年度予定)	事業継続中 (R7年度完了見込)	事業実施状況については、定期的に確認を実施。 今後も、産炭地域を有する長崎市・西海市と連携して、市が策定した産炭地域産業創造等実施計画に基づく事業に対し、効果的な助成を実施していく。
2					
3					

【共通】

5. 中期経営計画等の進捗状況・事業目標の達成状況 ◎ 達成 ○ 一部達成 × 未達成 — 未実施									
中期 計画	No.	項目名	R6 実績	計画上の目標値				最終年度 (R)	達成状況
	(目標値設定の根拠・考え方)								
	①	(翌年度に向けての改善事項等)							
	No.	項目名	R6 実績	計画上の目標値				最終年度 (R)	達成状況
	(目標値設定の根拠・考え方)								
	②	(翌年度に向けての改善事項等)							
	No.	項目名	R6 実績	計画上の目標値				最終年度 (R)	達成状況
	(目標値設定の根拠・考え方)								
	③	(翌年度に向けての改善事項等)							
	No.	項目名	R6 実績	計画上の目標値				最終年度 (R)	達成状況
	(目標値設定の根拠・考え方)								
	④	(翌年度に向けての改善事項等)							
事業 目標	No.	項目名	R4	R5	R6	備考			
	①		(計画)						
			(実績)						
	②		(計画)						
			(実績)						
	③		(計画)						
			(実績)						

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

(県が期待する効果の実現)			
評価結果		評価理由	
○	十分実現している	助成事業については、要望のあった事業の実現可能性や継続可能性について専門家による診断を行い、可能性が認められる事業への助成ができています。	
	概ね実現しているが未実現の部分がある		
	実現できていない		
(計画達成状況の判定)			
判定項目		評価基準	点数
①	中期経営計画の策定	[2点]中期経営計画(計画期間3年以上)を策定している	-
②	中期経営計画の目標達成	[1点]目標を1項目達成 [2点]2項目以上達成	-
③	事業目標の達成	[1点]事業目標を1項目達成 [2点]2項目以上達成	-
④	県が期待する効果の実現	[1点]効果を概ね実現している [2点]十分実現している	2
合計			2

【公益法人会計基準適用法人用】

直近の決算日: 令和 7 年 3 月 31 日

6. 財務の状況 (単位:千円、%)

項 目	R4		R5		R6	
	金額	対前年度比	金額	対前年度比	金額	対前年度比
【貸借対照表】						
流動資産	15,179		12,678	83.52	12,689	100.09
うち金銭債権額	0		0	-	0	-
固定資産	670,399		570,598	85.11	565,408	99.09
基本財産	101,540		101,540	100.00	101,540	100.00
特定資産	568,859		469,058	82.46	463,867	98.89
その他固定資産	0		0	-	0	-
資産合計(A)	685,578		583,276	85.08	578,097	99.11
流動負債	240		261	108.75	944	361.69
うち短期借入金	0		0	-	0	-
固定負債	2,790		2,976	106.67	3,188	107.12
うち長期借入金	0		0	-	0	-
うち退職給付引当金	2,790		2,976	106.67	3,188	107.12
負債合計	3,030		3,237	106.83	4,132	127.65
指定正味財産	667,059		567,072	85.01	561,669	99.05
一般正味財産	15,489		12,967	83.72	12,294	94.81
正味財産合計(B)	682,548		580,039	84.98	573,963	98.95
団体債務保証額	0		0	-	0	-
【正味財産増減計算書】						
経常収益(C)	865		101,311	11,712.25	5,048	4.98
うち受託事業収入	0		0	-	0	-
うち補助金収入	0		0	-	0	-
うち基本財産等運用益収入	317		316	99.68	191	60.44
うち自己収入(D)	548		100,995	18,429.74	4,857	4.81
うち県財政支出額(E)	0		0	-	0	-
経常費用	3,712		103,833	2,797.23	5,720	5.51
事業費	3,395		103,507	3,048.81	5,326	5.15
うち人件費(F)	2,935		3,943	134.34	5,008	127.01
管理費(G)	317		327	103.15	394	120.49
うち人件費(H)	0		0	-	0	-
当期経常増減額(I)	-2,847		-2,522	88.58	-672	26.65
経常外損益	-12,142		0	0.00	0	-
当期一般正味財産増減額(J)	-14,989		-2,522	16.83	-672	26.65
当期指定正味財産増減額(K)	8,083		-99,988	-1,237.02	-5,402	5.40
(会計方針の変更による影響額)	0		0	-	0	-
【収支計算書等】						
当期収入	865		101,311	11,712.25	5,048	4.98
当期支出	15,854		103,833	654.93	5,720	5.51
当期収支差額(L)	-14,989		-2,522	16.83	-672	26.65
次期繰越収支差額(M)	15,489		12,967	83.72	12,294	94.81
【会計単位別】						
	経常収益	経常費用	当期経常損益	当期収入	当期支出	当期収支差額
法人会計	191	394	-203	191	394	-203
新産業創造等基金/特定鉱害復旧	4,857	5,326	-402	4,857	5,326	-402
合 計	5,048	5,720	-605	5,048	5,720	-605

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

各財務数値の増減理由及び各種引当金の設定状況等							
<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は助成金支出ありだが、R6年度は助成金支出がなかったため、前年度と比べ経常費用等が減少している。 ・R6年度末に職員の給与改定を行ったことに伴い、対前年と比べ人件費や預り金(社会保険料等)が増加している。 ・退職給付引当金は、給料月額に在職年数を乗じて得た額としている。 ・賞与引当金は、給与支給総額に賞与率を乗じて算出した額としている。 							
(財務状況の判定)							
判定項目		R4	R5		R6		
		数値・比率	数値・比率	対前年度比	数値・比率	対前年度比	対前々年度比
①	当期経常増減額率(I/C)	-329.13	-2.49	0.76	-13.31	534.76	4.04
②	当期一般正味財産増減額率(J/C)	-1,732.83	-2.49	0.14	-13.31	534.76	0.77
③	当期指定正味財産増減額(K)	8,083	-99,988	-1237.02	-5,402	5.40	-66.83
④	正味財産比率(B/A)	99.56	99.45	99.89	99.28	99.84	99.73
⑤	次期繰越収支差額(M)	15,489	12,967	83.72	12,294	94.81	79.37
⑥	県財政支出率(E/C)	0.00	0.00		0.00		
⑦	自己収入比率(D/C)	63.35	99.69	157.35	96.22	96.52	151.87
⑧	管理費比率(G/C)	36.65	0.32	0.88	7.81	2418.16	21.30
合計							-5.5

※判定項目ごとに評価基準に基づき採点

【共通】

7. 経営内容及び事業活動についての総合判定

(団体の自己評価)

「計画達成状況」「財務状況」の合計点数	-3.5	➡	総合判定	B
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>5点以上:A 概ね良好</div> <div>-5点以上～5点未満:B 改善の余地あり</div> <div>-5点未満:C 一層の努力が必要</div> </div>				

※事業活動・経営の努力・今後の課題及び改善事項等

・財務状況の判定については、対前年と比較して比率が悪化したため減点となった。
R5年度は大口の助成金支出があった一方で、R6年度は助成金の支出がなかったことが主な要因である。R6年度に助成金採択は行われており、事業完了がR7年度予定のため、支出がR7年度に繰り越しとなったものであり、公益財団法人としての活動に問題はなく、収支相償の観点からも手続き上の問題は認められない。
・産炭地域振興事業に必要な財源を確保するため、証券会社等から適宜、情報収集を行い、基金の効率的・安全な運用を行っている。

(県の評価)

合計点数	-3.5	※評価の内容、県評価での加点・減点、総合判定の理由 (加点・減点を行う場合は、点数及び理由を具体的に記載ください。)
		・今後とも、証券会社等と適宜情報交換をしながら基金の効率的な運用を行い、それを活用した助成事業を実施することにより、産炭地域の振興に貢献していく必要がある。
総合判定	B	

(今後の県の関与の方針)

引き続き県が事務局を務め、産炭地域の振興に資する効率的、効果的な事業を実施していく。